

2023-2024年度
上野東ロータリークラブ クラブスローガン

Rotary

**「三十九の人
三十九の場を始めて
例会の始まらんとす」**

週報

WEEKLY REPORT 2023-2024



世界に希望を生み出そう

事務所 三重県伊賀市西明寺2756-104 ヒルホテルピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656

例会 毎週木曜日 12:30点鐘 第3・第5週例会 18:00点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000

1992/No.9

URL: <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/> e-mail: u-eastrc@ict.ne.jp

本日の例会 第1993回 2023年9月14日 (木)
開会点鐘 12:30
ソング RC『我らの生業』・『遠くへ行きたい』
ゲスト・ビジターご紹介
食事の時間・出席報告
会長の時間・幹事報告・ニコニコボックスの報告
委員会報告・同好会報告・ロータリーの友読みどころ
本日の行事
「基本的教育の提供と識字率向上を目指して」
地区国際奉仕委員長太田正隆様
閉会点鐘 13:30

前回の例会 第1992回 2023年9月7日 (木)
開会点鐘 12:30
ソング 国歌斉唱『君が代』
ロータリーソング『奉仕の理想』
ゲスト・ビジターご紹介
食事の時間
出席報告
会長の時間・幹事報告
ニコニコボックス・委員会報告・同好会報告
本日の行事 新会員卓話
「平井会員・北澤会員」
閉会点鐘 13:30

米山記念奨学会 奨学金贈呈 中井委員長
張 茜茜さん



この前、恒岡さんの陶芸教室の陶芸体験を致しました。
ありがとうございます。(私の作品です)



出席報告 西 出席委員長・張 茜茜



本日の出席率 93.75%

8月3日の修正出席率 93.55%

『会長の時間 ～ 日本の識字率』



令和5年9月7日
2023-2024年度 会長) 長谷川真嗣

ロータリー財団の重点目標の中に“基本的教育と識字率向上”がある。今月の月間テーマである。月間テーマの文言の中に識字率という言葉があるがロータリークラブでは毎年月間テーマなどで聞き慣れた言葉であるが、普段はあまり聞き慣れない言葉である。何故だろう？ おそらく識字率の高い日本に住んでいるからだと思われる。識字率の高い国は識字率を問題視したり目標に掲げる必要はないので普段はそれについて深く考えることはない。ただ、世界に目を向けると現在でも開発途上国、紛争当事国を中心に約7億人もの成人の非識字者が存在すると言われており、インターネットの普及でPC通信や携帯メール通信にしても言語の読み書き能力に依存しているので識字能力は以前にもまして重要になると思われる。

今回は日本の識字率の歴史的推移に焦点を当ててみよう。現在の日本では言及することはほとんどないが少しさかのぼって江戸時代の識字率はどうだっただろうか？ 江戸時代は戦乱の無い比較的安定した社会であった。その中で町人文化が台頭し庶民層でも徐々に文字を学ぶことの必要性和重要性の認識が高まった。当時の読み書き能力を示すデータは無いが幕府による統治、商業や通信の発達、娯楽文化の普及などから、ある程度推測はできる。ご法度、お触書(政治)契約書、簿記、両替、瓦版(商業)年貢記録質入れ証文、受取勘定、農事記録(農村統治)町や農村に関わらずこういったものが庶民の生活に根付いたいたので識字能力はかなり広範囲に浸透していたと推測される。もう一つ、この時代、読み書きに大きく貢献したのは寺子屋の存在がある。読み書きや算術を学ぶ寺子屋は授業時間は午前7時半～午後2時半で休業日も年間50日前後と現在の学校の休業日の約半分という少なさである。こうした寺子屋の普及度を基に江戸時代の識字率を推定する作業を行っている外国人研究者がいる。その人によると、幕末頃(約160年前)の読み書きの普及率は現在の発展途上国より高かったことは疑う余地のないことであると言っている。

こうした歴史的推移もあって、明治～大正～昭和～平成においては国民全体に対して一斉に識字調査を実施したという記録はないということである。ただ国民の読み書き能力を推計するために利用できる公的統計に壮丁(そうてい)検査がある。戦時中の成年男子の徴兵検査のことである。満20歳の青年男子の検査なので全体の識字能力に関しては鵜呑みにはできないが女子も明治43年頃迄に小学校の就学率の男女格差がほぼ解消されたことから約10年程度のタイムラグを経て青年女子の識字率も格差はなくなったと推定されている。

我々が受けてきた基本的教育制度は戦後日本の教育制度改革に基づいている。米国主体であったが、6-3-3制の採用、挙育委員会制度の導入、新制大学制度、男女共学、師範学校の廃止である。江戸時代より幕府の制度や自らの力で読み書き能力や識字率を高めてきた国民が戦後の教育制度により、現在の高い識字率と基本的挙育の高さに繋がっていくと考えると数百年ではあるが歴史を感じるのである。

幹事報告 西口幹事



本日、第3回目の理事会が開催されました。

「10月度プログラム」、「親睦家族旅行」、「中勢・伊賀グループIntercity Meeting」、「9/21例会延長」、「地区大会」、「会員増強プロジェクト会議」、「次年度指名委員会設置」について承認、頂きました。

なお、地区大会につきましては皆様のBOXに第2630地区2023-24年度地区大会決議、「1. 日本の伝統として継承するロータリー文化を堅持する決議」、「2. 地区世界社会奉仕補助金を地区奉仕プロジェクト補助金にする決議」をご覧いただき、ご意見がございましたら、9月末までに会長・幹事までご連絡ください。

2023年7月秋田豪雨災害支援金協力をお願いとして皆様に募金箱をまわしていますのでご協力お願いします。

ニコニコボックス報告 東委員長

長谷川会長 平井俊文君北澤毅君本日の卓話どうぞヨロシク！
 西口幹事 本日、平井会員・北澤会員卓話宜しく御願いたします。
 栗本会員 父の葬儀の際は、お暑い中ご参列いただくなどいろいろとお世話になりました。
 子日会員 皆様お元気ですか？現在コロナ感染者多いです、気をつけてください。
 中井会員・南会員・中里会員・神戸会員・栗本会員・前田会員・西会員
 ・中尾会員・出後会員・山森会員・野口会員・神崎会員・宮岡会員
 新会員卓話 平井さん北澤さん楽しみにさせていただきます。
 岡田会員 模擬面接欠席申し訳ないです。
 三谷会員 ホーム例会欠席（予定）のお詫び
 平井会員 ニコニコボックスに協力します。
 東会員 平井さん北澤さん卓話よろしく御願いたします 合計 30,000円です。



委員会報告 青少年育成委員会 出後委員長

本日14時40分から伊賀白鳳高校に於きまして就職模擬面接会を開催いたします。
 関係者の皆様ご参集お願い致します。



新会員卓話 北澤 毅 会員



2011 (平成23) 年4月1日 代表取締役就任
 人間観・仕事観・人生観・世界観

人間観
 縁

仕事観
 笑顔
 笑って仕事を行う
 仲間とのつながり

技術
 想いを形にする力
 人間性が高まる事で技術が進化する

人生観
 光
 皆に「光」を

世界観
 想いの強さ
 想いを言葉にして
 伝える事が強さである

人は人によって生かされている

真善美
 「真」
 現実を丁寧にみる
 「善」
 善悪を考え善い行動を行う
 「美」
 調和

ご清聴
 ありがとうございました



新会員卓話

平井 俊文 会員

改めまして三重中央開発の平井と申します。4月から新会員としてお世話になっています。本日は貴重な時間を頂きましたので自己紹介・会社概要PRも含め説明させていただきます。宜しくお願い致します。

私は1959年（昭和34年）に鹿児島県川辺郡防津町で生まれ現在64歳となりました。7人兄弟の6番目（次男）として生まれ、76歳の長女から女5人、男2人で、ほぼ2つ違いです。鹿児島県の地図を思い浮かべて頂きますと、中央に桜島があり、西が薩摩半島で東が鹿屋・志布志がある大隅半島です。北側には国分・霧島があり鹿児島空港もあります。薩摩半島には中央に鹿児島市、右南端に指宿温泉・薩摩富士と呼ばれる開聞岳・ネッシーで有名な池田湖があり、左南端には台風・カツオで有名な枕崎がありさらに西へ車で10分ぐらい行くと我がふるさとです。現在統廃合の為、南さつま市坊津町となります。昔は日本三代津と呼ばれ三重県の津市・長崎県の唐津市が有名だったとのこと。また坊津町は海外貿易仏教文化の拠点として栄え、奈良時代には鑑真が上陸した町と言われています。今でも4差路の交通信号機が無いのどかな田舎町です。

おかげさまで独身時代も含め毎年夏に帰省をしており、母親は大正15年生まれの今年97歳になります。今でも元気で自分の事は自分で行えています。99歳になると総理大臣から賞状がもらえるとの事で兄弟が交代で定期的に帰省し少しでも長生きできる様ハッパをかけています。また昨年から兄貴が夫婦で実家へ移住しましたが、40数年一人で生活してきた事もあり嫁・姑のバトルがあったみたいですが、聞く耳を持ち自分の意見をしっかりと伝えてる様です。

私が4歳の時、親父が結核で入院し病院を抜け出し、亡くなったと後で聞きました。父の事はあんまり覚えていませんが一つだけ何時も何をやるにも賑やかな兄弟でしたが、父の実家で多くの叔父・叔母にやさしくされ私は楽しかったのですが、兄弟と歩いて帰る途中また家に帰っても誰一人も元気がなかった事が父の葬式の時だったのかとうっすら覚えているぐらいです。父は大工で当時中学校の鉄筋コンクリートの技術室を建設して母親と妹と一緒に学校へ行き、一回り違う姉の教室で休み時間遊んだり給食を一緒に食べさせてもらった事を覚えています。小学・中学時代は何でうちにはお父さんが居ないのかとさみしい思いはありましたが叔父・叔母・兄弟が多く何不自由もなく育てられ、兄貴がお前だけは高校へ行けと進学させてもらい兄弟には大変感謝しています。高校は開聞岳のふもとで鹿児島県立穎娃高等学校機械科に入学し色々な良い体験・悪い事もしました。姉が大阪で就職・結婚していた事で大阪万博を初め何回か大阪に遊びに来たこともあり、車の修理工を目指し1977年（昭和52年）(株)大阪南マツダへ入社しました。当然エンジン・ミッション・デフ・機械コンピューターまで分解・修理が出来、これから色々な事を経験し覚えられと思いましたが、分業制で我々は部品交換屋であり期待外れの作業でした。1年半が経過し当時の所長に転職したいと願い出たら、「石の上にも3年」と言う言葉もあり3年は辛抱しやってみたら考えも変わるのでは？とアドバイスを頂いたが変化無く3年で退職し、友人の紹介で大阪府和泉市の産業廃棄物を扱う大栄環境(株)に1983年に入社しました。当時は管理型の最終処分場の埋立業務と一部工場やゼネコン現場へ廃棄物の収集・運搬（車両5、6台）含め15名前後で運営していました。私は収集・運搬を担当し2トン・4トン車で廃棄物の引き取りをしました。後に重機等の免許も取り埋立作業も経験しました。事業拡大の為三重中央開発(株)・一般廃棄物・産業廃棄物管理型の最終処分場をM&Aで買収後、独身であった為、三重中央開発へ1987年（昭和62年）転籍となりました。当時は3万平方メートルの処分場管理と収集運搬業務で15名弱の人員で運営していました。処分場の残容量がなくなると企業の永続性が担保できないため第1期から4期目までは地元予野区・花垣地区・上野市・三重県の承認を頂きながら増設を行い、細々と進めてきました。また業界ではリサイクルの波が押し寄せ1989年（平成元年）初めての焼却施設（能力120トン/d）を建設し、当時では珍しい污泥乾燥炉を併設し24時間連続稼働でスタートしました。1995年（平成7年）に阪神・淡路大震災があり大栄環境グループが大きく激しました。当時西宮市に大栄環境本部があったことと三重中央開発に一般廃棄物の許可があったことで県・市・地元区への了解を頂き処理を開始しました。当時の社長が素早くアメリカへ行きロサンゼルス地震で活躍した破碎機・選別機と導入する手続きを済ませ、また管理者8名も同時に来てもらい処理に当たりました。選別品、鉄・アルミの有価物は専門業者へコンクリートが土砂等のリサイクル品は行政関係へ残った埋立物として三重中央開発の最終処分場へのちにグループ処分場でも受入れを開始しました。当初は西宮市だけでしたが芦屋市・神戸市でも処理を行い3年も超える作業となりました。その後も台風・水害・地震等の災害廃棄物の処理依頼がありそれぞれ対応できたので環境省からも注目されました。また国では我々グループも含め全国廃棄物処理会社10企業をブロックごとに集め、日本廃棄物対応システムズを結成し緊急時には素早い対応を目指し対応しております。現在8期目の処分場665万立法メートルが昨年完成し、埋立中です。メタン堆肥化施設は今年4月から稼働開始で回収したメタンガスで発電し中部電力へ売電も行っています。次に伊賀市の一般廃棄物を4年前から処理している事と小学4年生がごみの勉強で、市内4校が春と秋に来社しリサイクルも含めた工事見学等対応しています。

また伊賀市内では、シティマラソン・駅伝大会等、多くの市の行事に協賛させて頂き地域貢献にも繋げています。地元予野地区とは良好な関係ができており、地元役員さんからも共存共栄で進めようという言葉も頂いております。又地元予野区では人口が減少しておりお店も無くなった。何とか地域活性を出来ないかとの相談がありコンビニを建設・運営することで合意、一昨年11月に完成し地域のコミュニケーションの場として大変喜んでいただいています。

我々経営ビジョンである「事業の永続性を高め、環境創造企業として進化する」と100年企業を目指し邁進しています。最後に昨年12月に親会社、大栄環境(株)が東京証券取引所のプライム市場へ上場し我々子会社も含め上場企業として役職者全員がグループの新しい未来を創っていくという思いと、未来は信頼から生まれるを合言葉に、今後も業界のリーディングカンパニーとして挑戦し続けます。

ご清聴ありがとうございました。

